

谷口裕信氏「東田川郡と郡役所の時代」 庄内3郡の重層性を考える必要

第1回ふじしま歴史文化講座

『ふじしま歴史文化講座』国史跡旧東田川郡役所及び郡会議事堂と藤島地域の文化財』の第1回講座が15日、東田川文化記念館明治ホールで開かれました。

テーマは「東田川郡と郡役所の時代」で、講師は谷口裕信氏（皇學館大學文学部教授）です。



時代の、地方行政制度の様子を具体的に示し、歴史上・学術上極めて価値の高い遺跡であることが評価された。

田川郡を2つに

明治11（1878）年に郡に行政機関を置くことが決定され、田川郡を東と西に分割して成立した。



郡政を具体的に
全国で現存している郡役所の中で、国指定重要文化財は、旧西田川郡役所と旧伊達郡役所、旧東山梨郡役所の3つだが、国指定史跡は旧東田川郡役所及び郡会議事堂の1か所のみである。

分割の理由は、①面積・人口・戸数と②旧大区との連続性である。旧大区は明治9（1876）年10月、第5大区が酒田、第6大区が藤島、第7大区が鶴岡に置かれていた。

大地主が多い

国指定重要文化財は、建造物としての価値（明治期の擬洋風建築）だが、国指定史跡は、「郡政の様子を具体的に示す遺跡として重要」となった。

創建当初の位置に現存し、敷地全体が郡役所として機能していた

年郡政施行・郡会が開設され、議員は町村単位で選挙されたが、大地主の間接選挙であった。

東田川郡は、選挙権を有する大地主の数が、県内他郡より飛び抜けて多かった。

郡財政の大きな伸び

郡財政は、歳出総額が1892年は2906円（山形県内の郡総額3万6435円の約8%）、1908年は1万8519円（同23万8311円の約7・8%）だったが、1921年は15万4543円（同122万8390円の約12・6%）と県内でも飛躍的に伸びた。大正4（1915）年配電開始の水力電気事業が大きい。

電気事業の利益を、人を育てる奨学金の学資金や、伝染病予防、基本金などの特別会計の歳入に充てていた。

郡営の水力発電

東田川郡は月山や湯殿山など、水力発電に適した環境があり、鶴岡水力電気事業組合（後

ふるさと賛歌

鈴木重雄（八色木）

日向富編・歌集「のうぜんかずら」⑩

第15回例会詠草 昭和46年4月23日

嫁の荷を山積みしたるトラックが減反よ
そこに晴ればれと行く 池田竹恵

鉢の梅二年過ぎたる祭り日に花の三つ四
つ紅く咲き初む 石川重雄

九日は月異なれど誕生日妻は栗飯に孫を
祝ひつ 石川兵一郎

いそいそと通園バスに乗れる孫よ逝きた
る息子に見せたき姿 同人

木立ち縫ひぬか煙の乱るるにまつはりに
つつ風花の舞ふ 石川錬太郎

鶯の啼く音に目覚め田起しの海鳴りに似
る耕耘機の音聞く 同人

球体の半ば割れたる露のとう太陽光線む
さばる如し 太田辰吉

鉢住みの金魚痩せしに春待ちて一尾も欠
けずに池に列なす 小鷹竹尾

産声に痛みも忘れひしひと胸は波打ち
涙あふるる 鈴木繁子

生まれ落ちし初めて見ゆる子宝に母なる
ことの責務を思ふ 同人

の東北電力）の発電所も、東田川郡の本郷村に置いていた。

郡で進んでいた開田

909）年当時、県内69件のうち過半数の35件が東田川郡で進んでいた。

東田川郡政の展開を振り返ると、「耕地が一面に広がる豊かな地形があり、郡財政の大規模化を支える郡営電気事業の存在、庄内3郡の重層性の位置づけを考える必要がある」と結びました。

乾田馬耕による生産力の飛躍的な上昇も、東田川郡で進んでいた。耕地整理は明治42（1

平成大合併後の庄内地方の市町の姿はいびつであり、歴史に学ぶ必要があります。

歴史公園

歴史公園（れきしこうえん）

城貞（藤の花）

密葉垂縷藤架条
芳園電飾文今宵
晚秋夜景画何尽
風退小春遊観饒

密葉 縷を垂る藤架の条
芳園の電飾 今宵を文る
晚秋の夜景 画けど何ぞ尽きん
風退き小春 遊観 饒し

葉がすきまなく生えている細い枝が、藤の棚にからみついて、垂れさがっている。

歴史公園のイルミネーションが、暗闇をまるで別世界のよう

に明るく照らしている。

晩秋の歴史公園を画こうとしても、絵としてどうしても画けないほどの素晴らしさである。

庄内農高同窓会、藤島地域の第7回交流会

交流しました。

県立庄内農高瑞穂同窓会の藤島地域連絡協議会（工藤正喜会長・写真下）が16日、第7回地域交流会を開催。

の渡部雄大氏（県警察本部・写真上）が「未来ある少年剣士の育成」と題して講演しました。約80人が参加し、牛肉のいも煮を味わい、



行学一如

庄内農高創立100周年を記念して制定。学習と実践は互いに影響し合って発展していく。書は笹原幸機氏（古郡）。



歴史公園＝藤の花公園（ヒスカ）。
密葉＝葉が隙間なくついている。
垂＝たれる。
縷＝からみつく。
架＝藤の棚。
芳園＝花の咲きにおう公園。
電飾＝放電管の光で装飾したもの。
今宵＝今夜。
晩秋＝秋の末。
何＝どうして。
尽＝おわる。
退＝おとろえる。
小春＝陰暦十月の別名。
遊観＝歩きまわって見物する。
饒＝多い。



首相代わって怖いこと

首相が石破さんから高市さんに代わって、新聞の見出しが厳しくなったと思うんだが。皆さんは、戦争に関する記事が多くなったと思いませんか。

▲先ずは日米会談だ。大統領の意を付度して、防衛費（軍事費）GDPの2%前倒し宣言だ。喜んだ大統領からは、俺んところから一杯買えよ・との一言も。

▲大きな予算が必要な前倒しナンテ事、首相だからと一人で決められることなんですかネ。そんな時、首相の言動で調子に乗ったわけでもあるまいが、防衛大臣からは原子力潜水艦が必要の声までも。

▲首相就任前から言われていた彼女の政治姿勢・極右が表れた「台湾有事」の認識と対応。これに怒った中国の口

は厳しく、汚い首を切るんだと。習近平さんと先日握手をしてきたのを無駄にした国会答弁でしょ。ランプさんどれだけ仲良くしてもダメなんだがネ。

▲とは言えだ。台湾に中国が艦船を出したらナゼ自衛隊の出動なんだ。対岸の火事に火を消しに行くの？ 事は戦争なんだろ？ 日本が攻撃されていないのに、なぜ出動なんだ？

▲自衛隊が台湾まで行って軍事行動するって事？ 自衛隊なんだよ。軍事行動をするとは、憲法違反だろう。その為なんだろうか。憲法9条改正という事で、自民と維新で条文改正の案作りの為の委員会が動き出した報道も。

▲同時に、スパイ防止法の制定も急がれている模様。戦争に反対する者を取り締まった治安維持法に代わる法律を作ろうというのだ。▲首相が代わって怖い事態が・・・（石川）

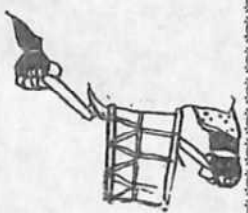
東栄小獅子踊りものがたり⑤

子どもにあった締太鼓を

元東栄小教諭・吉野文夫

獅子踊りにつきものの「締太鼓」は、身長と体力を考え、子どもにあった物をどうしても必要です。鶴岡の太鼓店（昭和町）を訪ねたところ、何十個という数と特注であれば、県外の大きなところをお願いしたらどうかということでした。

踊り指導の4人で検討した寸法をもとに、民俗芸能歌舞団である秋田わらび座に注文することになりました。数回の電話のやりとりの中で、太鼓作り専門家の意見もと入れ、基本の大きさと型、見



積書もでき、あとは町予算決定を待つばかりになりました。6月、9月議会も決定ならず、やっと12月議会にて決定となりました。これには地域の方々、町当局、特に故佐藤幸男教育長には心から協力をお願いできました。

太鼓作りの時期と練習期間もあり、私の一存で議会決定前に注文をしてしまいました。現物が届いたとき、すばらしい黒漆塗りの太鼓を見ながら、いよいよ始まるという緊張と弾む心でいっぱいでした。（つづく）